



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

□石 叫□

◎石 叫■

「パウロの祈り」

パウロの肉体には棘があった。その棘とは絶えず彼を苦しめてきた三つの痛みだと言われている。てんかん、目の病、そしてせむしといわれた極度の背の湾曲である。そのために主に何度もそれらの癒しを願ったのだった。伝道する者として、それらに悩まされていたのでは、却ってその妨げになると思ったのだ。ところが、主からの答えは、「わたしの恵みはあなたに対して十分である」(2コリント十二・9)であった。パウロの願いと主のそれとは違っていた。

主の応答は、パウロよ、お前はその棘が伝道の妨げとなると思っているのだろうが、伝道はお前が健康だから知力があるからするのではなく、その弱さや痛みの中で主がして下さる主ご自身のみ業なのだ。お前が叫ぶその叫びの中で、主であるわたしが答えることによって成される聖霊の働きが伝道なのだ、と言うのである。だから、パウロにはその痛みが必要なのであって、そうでないと彼は高慢になり、伝道どころではなく、却ってその妨げになってしまうからだ。

このことで、よくパウロの祈りは聞かれなかったと一般にいわれるのだが、主の側の祈りは聞かれたのである。人間の思いではなく、主のみ旨がなされるようにとの祈りこそが、本来のあるべき祈りだからである。その意味で、パウロの祈りは聞かれたのであって、主によって聞かれないう祈りはないからである。

さらに主は続ける、「わたしの力は弱いところ完全にあらわれる。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。わたしが弱い時にこそ、わたしは強いからである」と。肉体の棘が疼くその最中でパウロが主に助けを叫び求めると、次々と人々が救われてゆく様を見てパウロは主の強さを見てきたのだった。伝道とは彼の優れた力量を表す時でもなく、彼の学者としての知性を発揮する時でもなく、ましてや彼のがんばりや努力を誇示する時でもなく、ただ主ご自身のみ業の表れる場だからである。つまり伝道の成否は、とかく高慢になりがちな私たちが、如何に主の前に自分をへりくだらせることが出来るか否かに掛かっているといっても過言ではない。

パウロは世界最高の律法学者として、いくらでも自分を誇れたであろう。でも、それでは伝道にはならないのだ。そこで彼に肉体の棘が与えられた。それによって彼が神の前に謙遜になり、神のみ業が表れるためであった。ここに人間の持つ痛みの理由がある。パウロの祈りは、そのままでは聞かれなかったが、それよりはるかに大切な主のみこころが成されたのだった。これが祈りである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

